自転車安全教室チェックテスト（小学生用）

問１　自転車に乗って進んでいた時、子どもたちが歩道いっぱいに広がって通行していたのでベルを鳴らして、道を開けてもらった。

問2　　　　この標識のあるところは、自動車は通行できないが自転車なら通行できる。

問３　自転車に乗っているとき、携帯電話の画面を見たり持ったりして使用したりしてはいけない。

問４　　　　前の信号が赤の点めつのときは、自転車は一時停止をすれば左右の安全確認をしなくても進むことができる。

問５　雨の日に傘をさして運転することは禁止されているが、固定器具を使って傘をとめ、両手が使える状態で運転することはできる。



問６　　　　この標識は、前に駅があることを表している。

問７　信号機のない見通しの悪い交差点では、車がいなくても必ずゆっくり運転して、安全を確認してから交差点を通らなければならない。

問８　　　　この標識のある道は、自転車は矢印の方向には進むことができるが、反対方向には進めないことを表している。

問９　自転車で進んでいるときに児童がひとりで歩いているのを見つけた。このとき、自転車と児童の間に安全なきょりがあっても、ゆっくり進むか一時停止しなければならない。

問１０　自転車に乗るとき、両耳にイヤホンをつけた状態で運転することは違反になるが、片耳なら違反にならない。

問１１　交通量の少ない道になったので、友達と自転車を横に並べて進んだ。

問１２　自転車で歩道を通るときには、原則として車道側を通らなければならない。

問１３　　　　道路の左側に路側帯がある場所は、自転車は路側帯を通行することができる。

問１４　信号が黄色になったとき、黄色は「止まれ」の意味ではないので、停止線で安全に止まれる状態でも、急いでいるときは進行してよい。

問１５　自転車に乗っていて、他の自転車とぶつかってしまったが、自分も相手もケガをしていなかったのでそのまま立ち去った。

問１６　　　　この標識が前にあったが、左右に車や歩行者がいなかったので一時停止することなく進んだ。

問１７　　　　この標識のある場所でも、自転車はゆっくりと通ることができるが、歩行者がいないときはゆっくり運転する必要もない。

問１８　横断歩道は自転車に乗って進むことができるが、歩行者のじゃまになる場合は、おりて押して渡らなければならない。

問１９　自転車に乗っているときに、携帯電話を使うことは禁止されているが、自転車に乗りながら片手でパンを食べるのはよい。

問２０　自転車に乗るときは、歩行者や自動車と事故にならないよう、お互いにゆずり合い、思いやりの気持ちを持って行動することが大切である。

自転車安全教室チェックテスト

解　答　用　紙

解答するときは、正しいと思うものには「〇」を、間違っている

と思うものには「×」を解答らんに記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学年・クラス・番号 | 氏　　　　　　名 | 正　解　数 |
|  |  |  |
| 問題番号 | 答 | 問題番号 | 答 | 問題番号 | 答 | 問題番号 | 答 |
| 1 |  | 6 |  | 11 |  | 16 |  |
| 2 |  | 7 |  | 12 |  | 17 |  |
| 3 |  | 8 |  | 13 |  | 18 |  |
| 4 |  | 9 |  | 14 |  | 19 |  |
| 5 |  | 10 |  | 15 |  | 20 |  |

自転車安全教室チェックテスト

解　答

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 問題番号 | 正解 | 解　　　説 |
| １ | × | 歩道は歩行者優先です。事故防止以外の使用は禁止 |
| ２ | × | 車（自転車含む）が通行してはならない |
| ３ | 〇 |  |
| ４ | × | 一時停止と安全確認は必ず行うこと |
| ５ | × | 自転車のふらつきや転倒につながるので× |
| ６ | × | 前方に踏切があるという警戒標識 |
| ７ | 〇 |  |
| ８ | × | 自転車は反対方向に進行することができる |
| ９ | 〇 |  |
| １０ | × | 集中力低下や聞こえない可能性があるので× |
| １１ | × | 自転車同士や他の交通の危険につながる |
| １２ | 〇 |  |
| １３ | 〇 |  |
| １４ | × | 黄色は停止位置から先へ進んではならない |
| １５ | × | 必ず警察官に通報しなければならない |
| １６ | × | 必ず一時停止しなければならない |
| １７ | × | 歩行者がいなくても必ず徐行すること |
| １８ | 〇 |  |
| １９ | × | 片手での危険性があるのでしてはならない |
| ２０ | 〇 |  |